

〈グリーンな栽培体系への転換サポート〉 取組みの概要

取組概要

きゅうり栽培においては、ハダニ類対策は、化学合成農薬（殺ダニ剤）による防除が中心であるが、一部の薬剤では薬剤抵抗性の発達が認められる。そのため、薬剤抵抗性が発達しにくい、化学合成農薬のみに頼らない防除技術の確立のため、令和4年度に、天敵資材及び気門封鎖剤を活用した防除技術の実証を行った。

取組成果

実証区において、製剤化された天敵（カブリダニ類）を適期に放飼し、気門封鎖剤を併用することで、ハダニ類の抑制効果を確認するとともに、殺ダニ剤の散布回数を削減することができた。なお、栽培コストは慣行栽培とほぼ同等であった。



ナミハダニ（左下、体長約0.6mm）
を捕食するミヤコカブリダニ

成果の普及 （見込み）

長野県では、施設きゅうりのIPM実践指標を策定し、推進しているところであり、今後は市内のきゅうり生産者を対象にした研修会や個別巡回指導の実施により、天敵製剤及び気門封鎖剤を活用した防除技術の周知を図るとともに、本実証で得られた知見を踏まえて、他作物への実証等の検討を行っていく。